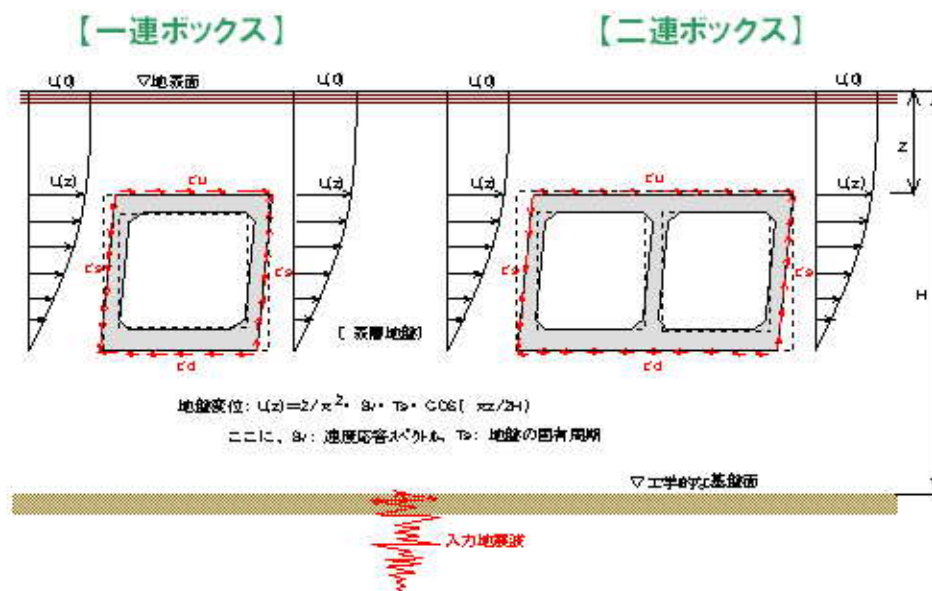


# PCボックスの耐震設計

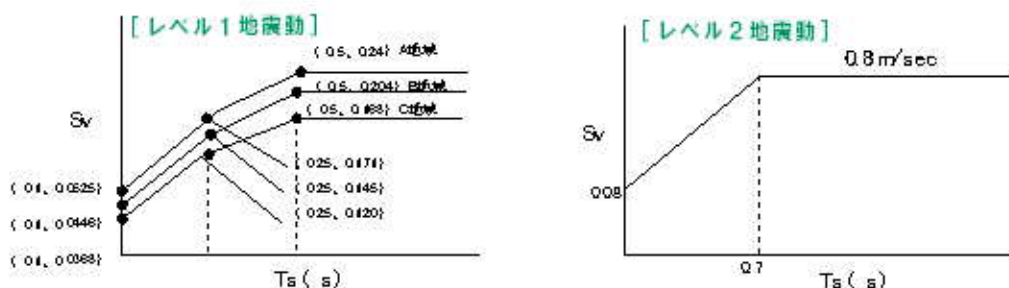
耐震設計シリーズ(継ぎ手、マンホール、管本体、RCボックス、PCボックス、圧送管)は、8本セットでご使用できます!



※注) 二連ボックスは現在開発中です、今暫くお待ち下さい。

## 【機能の概要】

- 下水道管路の耐震設計は原則として「応答変位法」を用い、レベル1地震動・レベル2地震動の設計応答速度は以下を使用します。(下水道施設の耐震対策指針と解説、図-解6.2.2、図2.3.3)



- 解析数は、最大10ケース(常時レベル1地震動レベル2地震動)まで対応しています。
- 液状化の計算～継手部の検討(屈曲角、管軸方向の継手伸縮量、急曲線部の抜出し量)～断面力の照査(常時、レベル1地震動、レベル2地震動)までの一連計算に対応しています。
- ※地盤入力データは、下水道の耐震設計シリーズ間(8本)で共有できます。
- 適用基準は、「下水道施設の耐震対策指針と解説」2006年版(社団法人日本下水道協会)に準拠。
- 「連番設定」機能に対応。(連番設定とは、出力書類の章・節・項の番号振りを編集する機能です)

\*記載価格には消費税が含まれておりません。